

公表:令和6年4月1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個々が安心して過ごせる空間づくり	平日は学校終了後の放課後の時間であることを踏まえた環境設定、学校休業日は休日、年齢を考慮した環境、活動設定に努めています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			当日の児童の状況等によって、サポートが必要な場合は、すみれ園職員と連携して即対応しています。	現場実情としては、当日の児童の状況や活動内容によって、職員配置が必要になることがあります。その際は、事業間、法人内施設間で連携します。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			システム化されている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				保護者の方や児童の声をもらい、支援につなげていきたいと考えます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価の項目を活用した自己評価を行っています。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修、法人研修、その他研修の受講をしています。	研修を積極的に行っています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童発達等からの引継ぎを受け、アセスメントによる本児童の理解した上で、本児童・保護者のニーズを聞き、計画書作成をおこなうことに努めています。	現状の分析と短期的見通し、長期的見通しを示しながら、計画作成に努めます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			個々の状況を踏まえ、活動プログラムを作成している。	個々の状況を踏まえ、活動プログラムを作成していきます。また、年齢や経験を考慮した活動を考えます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			放課後デイの役割の元、それぞれの活動時間に合わせた設定に努めています。	平日は学校終了後の放課後の時間であることを踏まえた環境設定、学校休業日は休日、年齢を考慮した環境、活動設定に努めています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			徹底して行っています。	

	⑩ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			徹底して行っています。	
	⑪ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			事業所間でも共有できるよう	
	⑫ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	⑬ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインに沿って、各々が意欲的に参加できる、選ぶことができる環境等を配慮した日常の活動、年齢と共に自立につなげていくことができるような活動を組み合わせ、支援しています。	継続して取り組みます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	⑮ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				
	⑯ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	⑱ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				他事業所への移行の際、引継ぎを行っています。
	⑲ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	⑳ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				
	㉑ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			保護者連携や相談に対する対応については努めているが、保護者へのサポートについては、努力の必要があると考えます。	

保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、放課後等デイとしての保護者集まりをできていません。	保護者の方のお声を聴きながら、今後、計画していきます。
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				迅速に対応できるように、対応体制整備等努力してまいります。
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				引き続き、活動概要、行事等を発信します。
	⑮	個人情報に十分注意しているか	○				個人情報保護方針に沿って、個人情報の取り扱いには十分に意識継続に努めます。
	⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアル策定、想定訓練を行っています。しかし、実際には不十分、見直しが必要な部分があります。また、保護者の方の評価を受け、保護者連携ができるように発信していきます。	緊急時の対応については、保護者への周知方法を検討し、園と保護者が連携して動くことができるように対応していきます。
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				非常時に動けるように取り組んでいきます。
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修は、事業所では4月、11月実施。法人では8月3月実施しました。意識の継続を行っています。	委員会の毎月のチェック、研修を継続しながら、意識の継続に努めます。チームで取り組む意識を持ちます。
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			検討が必要になった場合、施設・法人でガイドラインに沿って検討する仕組みとなっています。	検討が必要になった場合、組織で検討できるように速やかな検討会議の開催等を行います。
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				ヒヤリハット事例の経過の把握に努め、同じようなヒヤリハットを起こさないよう、大きな事故につながらないように努力します。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。